

不発弾被害について知る

単元目標：ラオスでは不発弾の被害が現在も身近に起こっていることを知り、どうすれば解決できるかを考える。

対象：高校生

時間：45分

過程時間	学習活動	指導上の留意点（支援）	資料（教材）
導入 (10分)	①キーホルダーとスプーンを提示し、この2つに隠されている秘密について考える。		・不発弾で作ったスプーン・キーホルダー
展開 (30分)	②不発弾を使った建造物を見せ、気づいたことを発表させる。	* 前回の学習で、ラオスと沖縄の共通点の一つに不発弾があったことを確認する。	・添付資料①②
	③今日の目標を確認する	* グループ学習	・添付資料③
まとめ (5分)	④被害者名簿（サバイバーの名簿）の写真を見て、気づいたことを付箋に書き込み、発表する。	* 子どもたちの被害が大きい事とその理由について考えさせる。 ※発表で出なければ… Q1：被害が多いのは何歳くらいかな？ Q2：なぜ子どもの被害者が多いのだろうか？	
	⑤クラスター爆弾について学習する。		・マンガ資料
	⑥撤去には命の危険を伴うことを学習していく。	* 撤去作業のパフォーマンスの写真・動画を見せる。	・添付資料④⑤
	⑦発問： 「どうしたら不発弾による被害を減らすことができるだろう？」 例 ○募金 ○作業員を増やす ○啓発活動をする	* 個別活動 * なかなか書けない生徒には、マンガ等の資料をもう一度振り返らせる。 また、自分の家の近くにあったらどうするかを考えさせる。	・新聞記事⑥ ・添付資料⑦⑧
まとめ (5分)	⑧初めて知ったこと、感想をまとめる。	* 感想を共有する。	

添付資料①② (本時でB 4に拡大コピーし使用)



①不発弾を利用したお店の装飾



②処理された不発弾



③不発弾で被害を受けた人の名簿

写真①②の補足説明

シェンクワンには、ベトナム戦争時の不発弾が多く残っています。

①は、安全に処理された不発弾の容器をお店の装飾として利用している写真。

②は UXOrao に展示されている掘り出された不発弾の一部です。

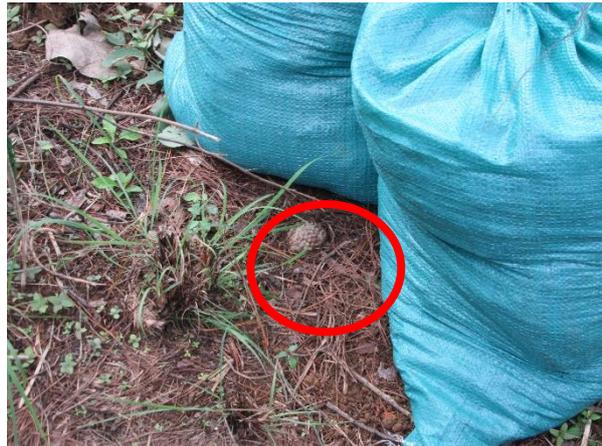
写真③の補足説明

名簿には、日付や名前、年齢、被害を受けた場所、被害の状況などが英語で書かれている。同じ日に複数の人が被害を受けていることが読み取れる。また、子ども被害が多い。

添付資料④⑤ (プロジェクターで投影)



④クラスター爆弾の内部



⑤土の上に露出した子爆弾

写真④の補足説明

クラスター爆弾は、親爆弾と呼ばれる外側の大きな容器の中に、子爆弾と呼ばれる小さな爆弾が沢山入れられている。親爆弾が爆撃機から打ち出されると、その中からたくさんの子爆弾がばらまかれ、広範囲に攻撃できるように作られている。

写真⑤の補足説明

クラスター爆弾の子爆弾は、設定された回転数、回転すると爆発するようになっている。いつ爆発するか分からない不安定な状態なので、クラスター爆弾が発見された場合には、その場で爆発することになっている。

添付資料⑦⑧ (授業で動画を流した)



⑦不発弾の場所を特定する様子



⑧不発弾を掘り出す様子

写真⑦⑧の補足説明

シェンクワンでは、研修・訓練を受けた市民が不発弾処理を担っている。

写真⑦は機械を使って、不発弾の場所を絞り込んでいく作業をしている画像。2人1組で、金属探知機を使用し、反応した部分に印を挿していく。次に写真⑧のようにさらに狭い範囲(10cm程度)で場所を絞り込み、少しずつ慎重に手作業で掘り出していく。

作業している人が軽装なのは、爆発が起きた場合、防弾チョッキ等を着けていても破片がそれを貫いてしまうため、あまり意味がないので作業服で行っているとのことだった。

この作業は、小学校の300m先で行われている状態だった。命がけの作業であるが、不発弾を撤去しなければその地域の安全も発展も望めない。携わる人たち全員が使命感を持って不発弾処理に取り組んでいた。

不発弾処理 2138 人避難 中心市街地で 29 年ぶり

2016 年 11 月 27 日 (八重山毎日新聞) [地域・教育](#)



不発弾処理隊によって安全化処理され、トラックに運び込まれる 250 ㎏爆弾＝26 日午後 5 時半ごろ、タウンパル山田前のゆいロード

70 事業所、営業停止余儀なく

今月 4 日に石垣市大川 204 のタウンパル山田前のゆいロードで見つかった英国製 250 ㎏爆弾 1 発は 26 日、予定より 22 分遅れの午後 4 時 37 分から現地で信管離脱作業が行われ、同 5 時 20 分に完了した。作業開始後、避難対象区域内で進入者が確認されたため、一時中断した。中心市街地で不発弾が発見、処理されるのは、今回とほぼ同じ場所で行われた 1987 年 7 月 15 日以来 29 年ぶり。処理壕（ごう）や防護壁の強化で避難対象範囲は、当時の半径 400 ㍍から 283 ㍍に縮小されたものの、1246 世帯 2138 人が避難、70 カ所の事業所が営業停止を余儀なくされ、およそ 3000 人以上の住民生活や経済活動に大きな影響が出た。

世界に目を向けよう！②

年A組 番【 _____ 】

目標：ラオスの抱える（①不発弾）の問題を理解する。

メモ

☆どうしたら（① 不発弾）による被害を減らす事ができるだろう？
その中で私たちができることは何だろう？

[]

☆今日の授業で考えた事（感じた事）、初めて知った事を書いて下さい。

[]

☆今日の授業で疑問に思った事があれば書いてみよう。

[]